

「うみのこびと」2019年度のご報告

葉山・森戸海岸近くの一軒家でシュタイナー教育を実践する幼稚園類似施設「うみのこびと」では、年長5名、年中3名、年少2名、年々少2名の個性豊かな子どもたちが共に過ごしました。年々少を含め延長保育の利用が多く、週3回実施されました。

異常気象が例年のこととなりつつありますが、季節の行事を大切に行い、先生方の細やかな保育に守られて、心身共に子どもらしく健やかに成長できたと思います。また10月から始まった幼保無償化のうみのこびとに対する影響についても、皆が一丸となって行動することができました。

2019年度、うみのこびとの活動報告を少しですがこのお便りにのせてお届けします。

【保護者：木村】



2019.11.12

秋の遠足

園舎から目的のお山までみんなで歩きます。途中、小川で葉っぱを流したり、木の実で実飛ばし、お花摘んで、崖を登って富士山見物。なかなかお山につきません。やっと着いたら、火起こしして焚火。火吹棒でフュー。畑では大きなブランコ4人も乗って、綱を捻ってパツと離してぐるんぐるん。斜面を登ってターザンロープでシュー。沢山遊びました。

【保護者：岩崎】

2019.4.12

はじまりの会（入園式）

入り口の花壇には沢山の色とりどりの春の花。室内の静かで、温かな雰囲気。お兄さん、お姉さんのお歌に、人形劇、可憐な花束のプレゼント。小さな慣れない子どもに無理のない短かな時間で終わる式。全てがこの園の在り方を表していて、素晴らしく、心に残る入園式となりました。

【保護者：山本】



お誕生日会

お誕生日の子は、特別な衣装を纏い、先生からどのように天の世界から家族の元にやってきたのか、こびとにやってくるまでのような様子だったのかを、まるでおとぎ話をするようにお話してもらいます。そして、プレゼントの中から一つ好きな物を選んでからの、特別なおやつ。その子だけの特別な空間に、いつも以上にゆっくりと時間が流れていくのでした。

【保護者：三枝】



2019.7.17

水遊びの会

夏休みに入っすぐ、水遊びの会が開かれます。在園こびととお山のこびと(未就園クラス)が大集合。いつものお庭がプールに大変身。ひとしきり遊んだ後はそうめんと夏野菜のお昼ご飯。そうめん嫌いだっただの子も、お友達と食べればあら不思議。そうめん大好きになったのでした。

【保護者：加藤】



2019.12.6

アドベント

人生初のアドベント（聖夜を待ち望む、四つの日曜日を含む期間）のはじまり。胸のまえで大事そうに“りんごろうそく”を持つ子どもたちが、順番に、手のなかのろうそくに火を灯してゆきます…だんだんと明るさを増す室内。だんだんと明るさを増す心。よろこびに満ちたわが子との帰り道でした。

【保護者：金井】



うみのこびとは
神奈川県設置基準を満たしている
幼稚園類似施設です

春が来る



クリスマスが過ぎ、お正月を迎え、光は清らかに明るくなってきました。
冬至が過ぎると、寒さは増すけれど、日は一日一日と長くなってゆきます。
木の芽は早くも動きだし、春を待っています。
それと同じに心は少しそわそわと広がって行き、
遠くに憧れる気持ちを持つ人もいます。
子どもたちは自然にとても近い存在、まだまだ天使に似ています。
季節とともに生きています。

球根が花を咲かせる前には冬の間に根っこをしっかり生やすように、
人間も根っこをしっかり持つことが
自分らしい自分に満足できることにつながります。

梅の花が咲き始めました。桃の花、桜の花と続きます。
どれも薔薇の仲間で、五星形をしています。
薬効があるとされています。



どの樹もとても長生きで深い根っこを持っています。
地面から熱を吸い上げてその温かさを花の色にして
果実を実らせ人間に贈ってくれるのです。

植物は自然のきまりの通りに生きている祈りの姿です。
根っこを地面に伸ばし、天に向かう、木々の姿は私たちの祈りの姿と同じなのです。
新しい生活に向かう子どもたち、この小さな子どもの家で
言っていた祈りの言葉を忘れないでくださいね。
木のように花のように人間も祈りの姿であることを忘れないでね。



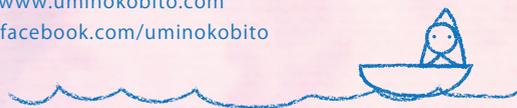
葉山シュタイナー子どもの家
オイリュトミー専科教員 オイリュトミー療法士 さるやりか

こびとだより



葉山シュタイナー 子どもの家 うみのこびと
神奈川県三浦郡葉山町堀内 878-3(元町バス停より徒歩3分)

www.uminokobito.com
facebook.com/uminokobito



HP▼



FB▼



すこやかな身体
湧き上がる意欲
自分への信頼

葉山シュタイナー 子どもの家

うみのこびと

2020年3月発行
vol.01